



第6回 諏訪市文化センター 運営検討委員会

日時：令和7年6月10日（火）17：30～19：00

場所：諏訪市文化センター 第3集会室

目次

1. 令和6年度運営検討委員会のふりかえり

2. 改修計画の全体像について

3. トライアルイベント第2弾について

4. 意見交換会「文化施設の活用と魅力発信について (仮)」

1. 令和6年度運営検討委員会の ふりかえり

1. 令和6年度運営検討委員会のふりかえり

実施報告

別紙

「諏訪市文化センター運営検討委員会
令和6年度の実施報告について」 参照

2. 改修計画の全体像について

2. 改修計画の全体像について

改修後のビジョン（案）

基本理念：「親しみ」「活かし」「つながる」文化芸術活動の拠点

文化芸術に**親しみ**、生涯にわたって自発的に学び続け、個人やグループが学んだ成果を**活かし**、文化芸術を通じて仲間を広げ、人と人が**つながる**施設運営を目指し、**文化芸術活動の拠点**として駅周辺の魅力向上に寄与します。

基本理念を実現するためのアプローチ （方針・具体的な取組）

自ら文化センターを利用して行われる文化活動を企画（創造）し、上演を行う。

○具体的な取組例

- ・創作公演
- ・学生主催イベント（高校演劇、音楽会、文化祭、ダンス大会、フェスなど）
- ・ステージで聴くベーゼンドルファー
- ・専門スタッフ配置 など

文化センターを利用して上演される文化活動を鑑賞する。

○具体的な取組例

- ・芸術祭（伝統芸能、音楽コンサート）
- ・生涯学習に関する講演会や研修会
- ・ホワイエや芝生を活用したコンサート など

文化センターを利用して上演される文化活動に自ら加わり、表現活動に参加する。

○具体的な取組例

- ・諏訪市文化祭（芸能祭コーラス祭、高校生による書道パフォーマンス）
- ・生涯学習フェス（芝生にて課内各館ブース設置）
- ・スタッフボランティアやサポートメンバー育成
- ・文化芸術入門講座、古典芸能講座 など

多世代の交流 賑わいの場（ホワイエ、フリースペース、中庭、芝生など）の活用、近隣施設（図書館、すわっちゃオなど）との連携

理念を実現させるための運営体制

貸館事業（音楽・演劇公演、各種会議、研究大会、講演会、展示会、部活動 など）、発信力の強化（貸館も含めたイベント一覧を発信）

事業を展開する中で活かしたい諏訪市文化センターの特徴

1. 伝統芸能に適した舞台構造、寄席をイメージさせる客席配置、聴講などに適したホール
2. 会議や講座のほか即売会や展示会など多様な用途で使用可能な集会室
3. 市街地の中で、約250台駐車可能な大型駐車場
4. 諏訪の産業史を物語る文化遺産（吉田五十八による建築作品であり、国登録有形文化財）

耐震化を図り、防災拠点としての機能向上による安全・安心な施設

ソフト面

ハード面

住民参加により

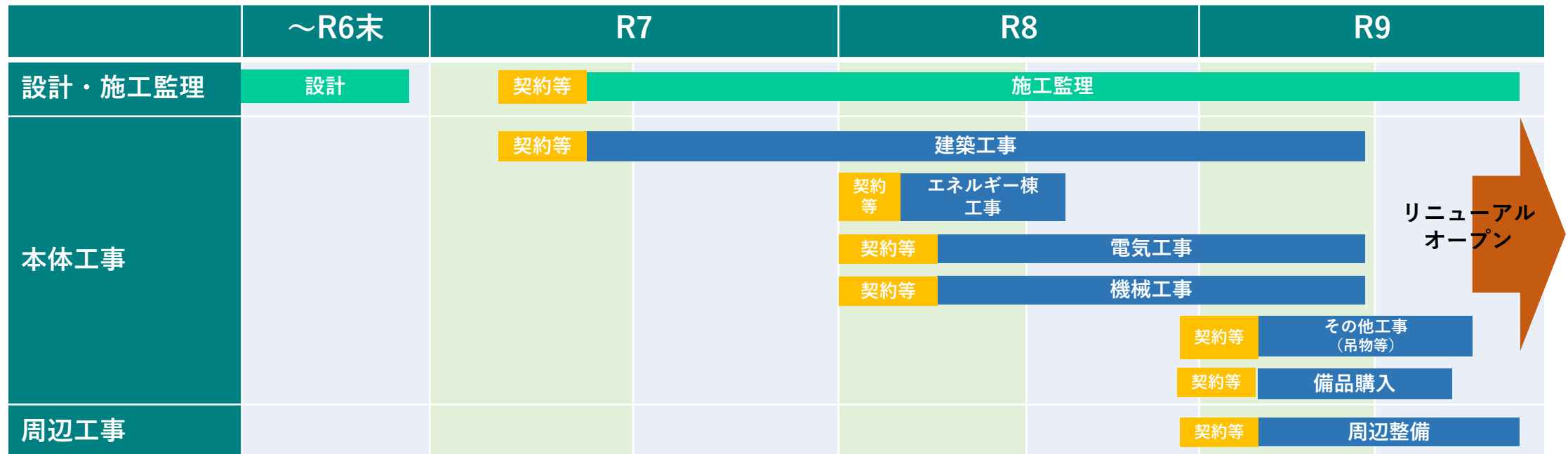
特徴や機能を活かし

文化芸術活動の拠点として駅周辺の魅力向上

2. 改修計画の全体像について

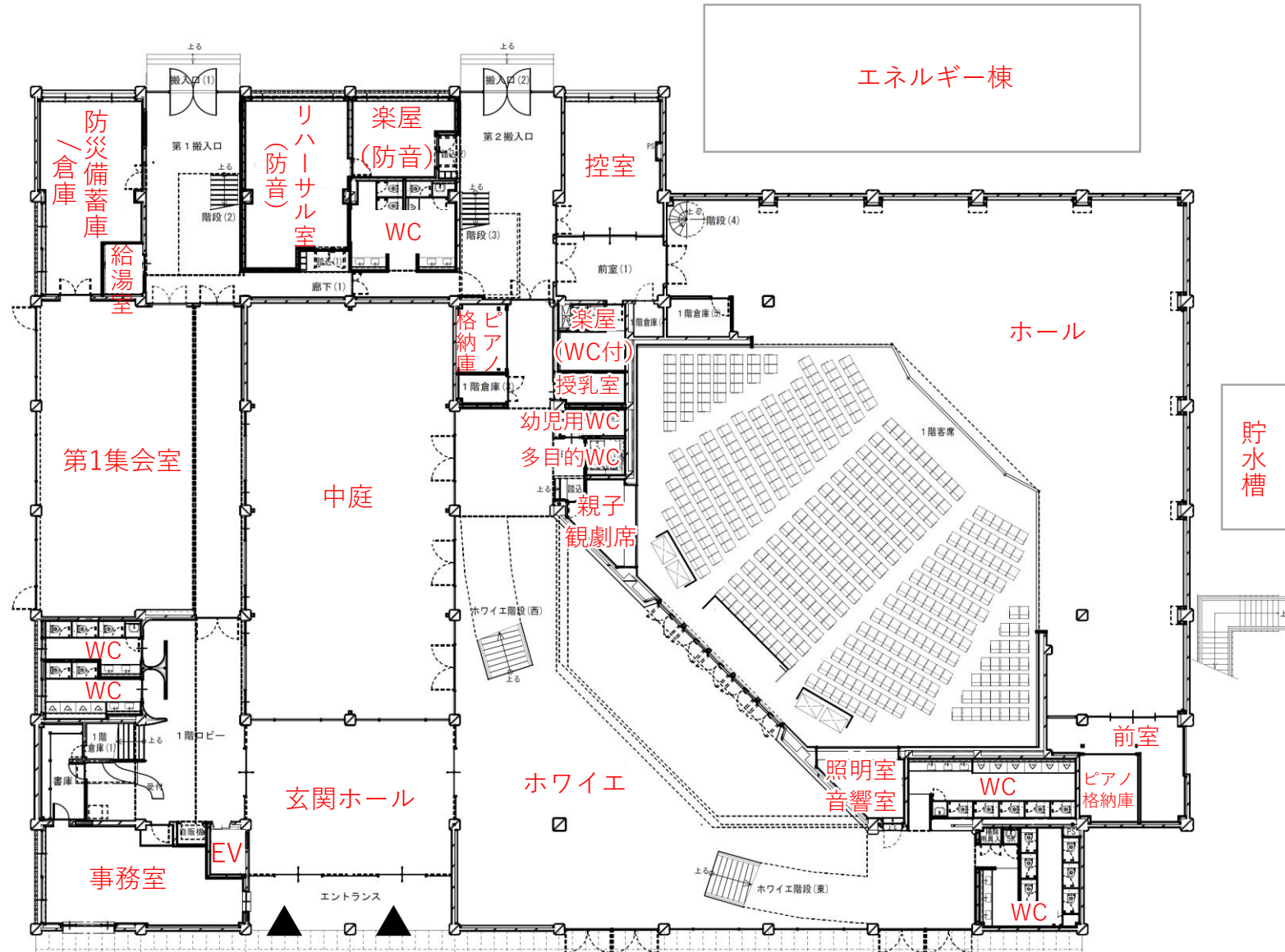
改修スケジュール

本改修工事は、国庫補助を受けながら進めます。国庫補助をより確実に受けるため、計画期間を3年間に平準化するとともに、工事内容を細分化しながら進め、令和9年度中のリニューアルオープンを目指したスケジュールとします。



2. 改修計画の全体像について

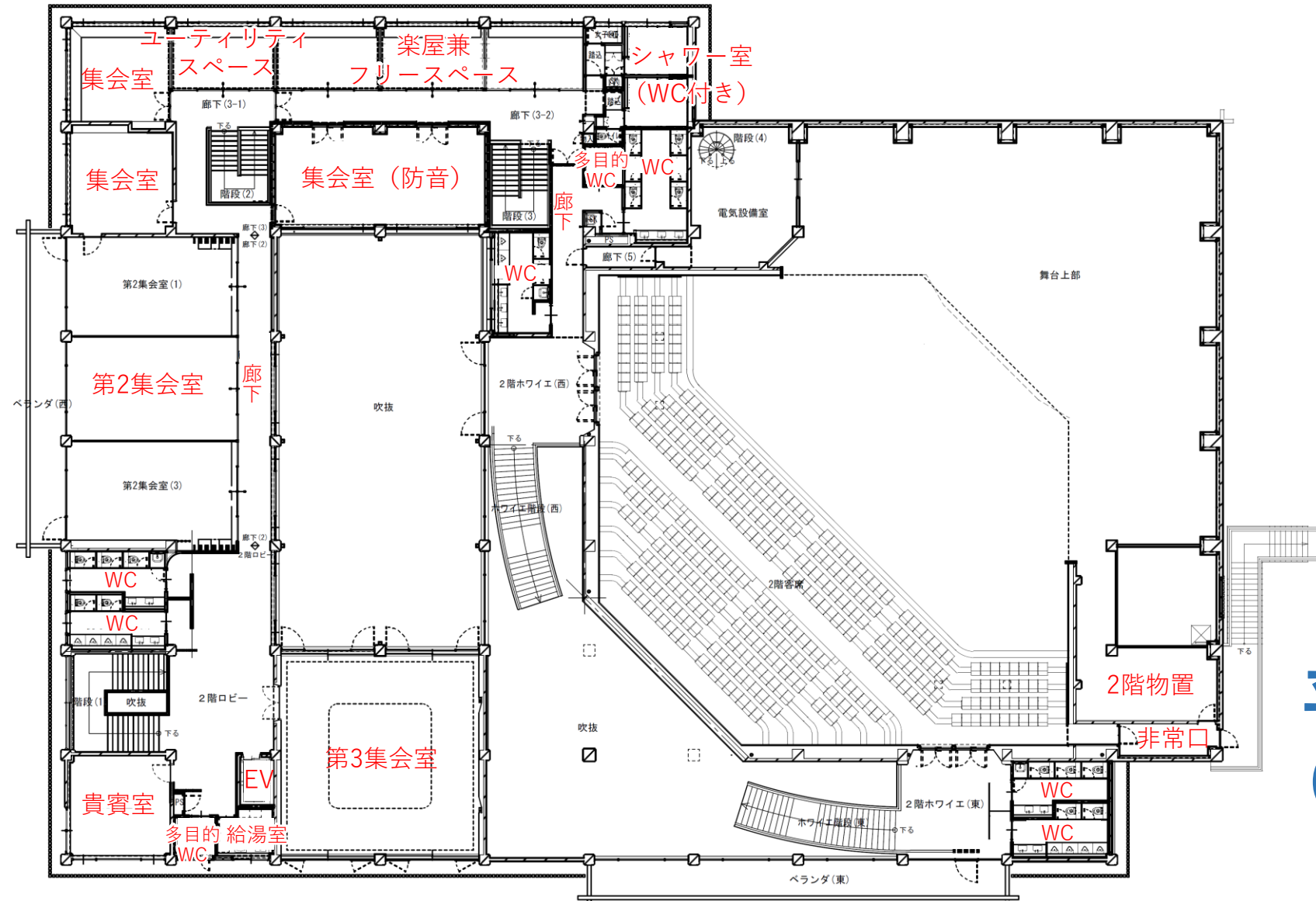
主な改修内容（平面図）



平面図
(1階)

2. 改修計画の全体像について

主な改修内容（平面図）



平面図
(2階)

3. トライアルイベント第2弾について

3. トライアルイベント第2弾について

企画内容

第5回運営検討委員会で意見聴取した文化センターのリニューアル後の活用を見据えたトライアルイベント「アオハルminiコンサート in 文化センター」の検証結果から、活用のポイントとして挙げられた「若者の発表の場」、「気軽に立ち寄れる空間」を実現するため、トライアルイベント第2弾を企画しました。

- イベント名 **公開練習「文化センターホール開放DAY」**
- 日時 6月1日（日） 10：00～17：00
- 会場 諏訪市文化センター ホール
- 対象 市内中学校・高校の部活
- 内容 ①市内の中学・高校の部活動の練習の場としてホールを無料開放し、練習風景を公開する
 ②ホワイエを開放し、気軽に立ち寄れる空間を提供する
- 募集期間 4月30日（水）～5月14日（水）

➡ 様々な理由で参加団体との調整ができず、**イベントは開催しない**こととしました。

➡ ただし、**各団体などにヒアリングし考察することで、今後の活用について検証**しました。

3. トライアルイベント第2弾について

考察と検証

■ヒアリング結果

○希望しなかった理由

- ①時期 「1年生が入ったばかりのタイミングということもあり、ステージ練習にはまだ早い」、「近々に発表の機会がない」 など
- ②時間 「通常の部活の練習は2～3時間であり、1時間では短い」 など
- ③移動や楽器搬入出の負担 「短時間のために移動が難しいことや、楽器の搬入出にかなりの労力がかかる」 など
- ④その他 「別行事とバッティングしていた」、「土日の活動ができていない」 など

○今後文化センターを活用するにあたり必要なこと

- ①料金体系の整備 「練習料金や減免があればありがたい」 など
- ②移動手段の確保 「保護者は仕事を持っている方も多く、教職員は生徒を乗せることを禁じられている」 など
- ③時期 「平日の夕方に気軽に使えると嬉しい」 など
- ④その他 「ホールの音響が改善されると良い」、「大型打楽器の貸出」 など

■検証

ヒアリング結果を受けて、各課題（①時期、②時間、③負担）について「自主事業の場合」と「貸館の場合」に分けて考察しました。

①時期		②時間		③負担	
自主事業	貸館	自主事業	貸館	自主事業	貸館
各校の発表時期と時間を考慮する	練習料金や減免など利用しやすい運用を整備した上で予約してもらう	団体数を限定し、練習時間を長く設定する。または、イベント日数を増やす	枠貸し（午前、午後、夜間）だけでなく、時間貸しを検討する	楽器の搬入出の費用や運搬、生徒の移動手段の負担を検討する	予約制であれば、考慮の必要性はないと考えられる

4. 意見交換会「文化施設の活用と 魅力発信について (仮)」

4. 意見交換会「文化施設の活用と魅力発信について（仮）」

講師紹介

信州アーツカウンシル
ゼネラルコーディネーター

野村政之（のむらまさし）氏

1978年長野県生まれ。舞台芸術の創作現場と、文化行政・支援の仕事に並行して携わる。大学から演劇活動を始め、長野県内の公共ホール勤務、東京の小劇場での活動、アーツカウンシル東京アーツアカデミー調査員、沖縄アーツカウンシルプログラムオフィサー、長野県県民文化部文化政策課文化振興コーディネーターなどを経て、2022年4月より現職。

